

FP(フルオロウラシルとシスプラチン)の治療をお受けになる方へ

腫瘍は、正常細胞に比べて分裂増殖が盛んです。
 フルオロウラシルとシスプラチンは、分裂増殖が盛んな細胞に作用します。
 正常細胞でも分裂増殖が盛んな細胞は、薬の影響を受けやすく
 副作用として現れてきます。
 以下に、フルオロウラシルとシスプラチンによる治療の副作用をご説明します



薬の名前	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6~28日
シスプラチン (成分名;シスプラチン)						お休み
薬の名前	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	
フルオロウラシル (成分名;フルオロウラシル)						

症状や経過に合わせてお休み期間は変わります。

一日のスケジュール

	点滴時間	薬の名前	薬の働き
	120分	ソリューゲンG	ソリューゲンG; 点滴チューブの洗浄および状態の確認
	120分	ソリューゲンG 硫酸Mg補正液	硫酸Mg補正液:Mgを投与することにより、腎臓を保護します。
	10分	生理食塩水50ml	生理食塩水; 点滴チューブの洗浄および状態の確認
	30分	生理食塩水100ml パロセトロン・デキサート・ホスアプレピタント (★2・3日目は生食50ml+デキサート)	吐き気止め
	2時間	生理食塩水500ml シスプラチン	シスプラチン;腫瘍の細胞分裂を抑える。
	側より静注	フロセミド	利尿の薬
	24時間	生理食塩水500ml フルオロウラシル (★1~5日目)	フルオロウラシル;腫瘍の細胞分裂を抑える。
	側より120分	ソリューゲンG (★2・3日目も投与)	ソリューゲンG; 点滴チューブの洗浄および状態の確認
	側より120分	ソリューゲンG (★2・3日目も投与)	ソリューゲンG; 点滴チューブの洗浄および状態の確認

◎起こりやすい副作用について フルオロウラシル・シスプラチンによる副作用

●食欲不振・吐き気

程度の差はありますが、ほとんどの方に認められる症状です。
点滴治療の場合には点滴終了後3日程度とされています。
症状が強い場合は時期に合わせて、吐き気止めのお薬を追加することがあります。

●下痢

1日3回以上の排便回数の増加や水様便が出ることがあります。
症状が続く場合は、脱水症状を防ぐため水分補給を行ってください。
症状に合わせて下痢止めを使うことがあります。

●疲労感

身体がだるく感じたり、疲れやすさを感じることがあります。多くは点滴後3日間程度とされています。
この期間は無理をせず休息をとるほか、散歩など気分転換をはかるとよいとされています。

●骨髄抑制

白血球が少なくなると、病原菌に対する体の抵抗力が弱くなり、感染症を起こしやすくなります。
そのため、手洗い・うがいを心がけましょう。

特に治療期間中38.0度以上の発熱、37度台であっても悪寒や咳、のどの痛み、排尿時の痛みなどがある場合は感染症にかかっている場合があるので病院へ連絡しましょう。

赤血球が減少することで貧血になる場合があります。

血小板は止血に働くため減少が強いと出血しやすくなります。歯茎からの出血や鼻血の症状に注意が必要です。

●口内炎

口の中・歯肉・咽頭がしみる、ひりひりする、赤くなるといった症状が出ることがあります。
口内炎は予防がもっとも大切です。口の中を清潔に保つよう心がけましょう！！

◎放射線による副作用

●皮膚炎

放射線治療を行うことで皮膚に炎症が起こることがあります。適宜塗り薬で対応することがあります。

◎その他の副作用について

●血管痛・静脈炎、注射部位熱感・局所痛

薬が血管を刺激するため、治療中に血管の痛みや腫れが起こることがあります。また、数日後にも発赤、腫脹、熱感などを感じる場合があります。異常を感じたらすぐにお知らせください。

●末梢神経障害

手の知覚異常やしびれを生じる場合があります。症状が強いときはお知らせください

☆点滴開始から2～3日間は水分を1～1.5リットル程度摂取するように心がけてください。

⇒シスプラチンによる腎機能障害を予防するためです。

尿量がすくなかったり、むくみが生じた場合は教えてください



これら以外の副作用があらわれる場合もありますので、
気になる症状があらわれた際には必ず医師、薬剤師または
看護師にご相談ください。